



## 環衛連とSDGs

環衛連、正式には宇部市環境衛生連合会は1956年2月1日発足で、67周年を迎えます。宇部市から委託を受けて一般市民の衛生思想の向上、ごみ分別減量、環境衛生学、ごみ減量化推進に取り組んでいる団体です。

私も毎月の荒ごみステーション等で立哨当番や分別指導、環境問題意識の向上など25年間続けています。ごみ分別指導のイタチごっこみたいですが、持続できないと思います。

琴芝小学校放課後教室で環境問題に小学生が凄く関心を持っているのに感動しました。増え続けるプラスチックごみは2050年には魚の量を上回り、自然に帰らない素材だから、何百年も海に残りどんどん細かくなって「マイクロプラスチック」になり、魚介類の体内に入りその魚を人間が食べる。毎週クレジットカード1枚分のプラスチックを食べている可能性があるという、子供達は「エー！怖い」と。日本は一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が年間32キロと世界第2位の多さ、など学んだ後、今後どうしたらいいのかと質問したら、これが凄かった。

海に流れる前にごみをひらう、その為に清掃活動に参加している子供数人がいた。「ゴミを拾うとどんな感じ？」の問いに、「自分がいい気持ちになる」「ほ

宇部市環境衛生連合会 会長 渡壁正英

められて嬉しい」「何か気持ちがすっきりした」と、ロクに感想を述べたのに驚いた。素晴らしい。マイバック・マイボトル・ポイ捨てをしない・など大人顔負けの答えに思わず拍手が出た。

環衛連の各地区(旧校区)の支部長さんが毎月第3土曜日午前11時からFMきららに出演して、全地区の環境活動をシリーズで紹介しています。今自分たちができる些細なSDGsを進める事が大きな変化になることを祈っております。

先人の格言に「一身の安堵を思えば先ず四表(東西南北の四方、世界)の静謐(平穩、平和)を祈らん」とあります。家の中にゴミがなくても地球上のゴミは増え続けています。SDGsのキーワードとして「誰も置き去りにしない・誰一人取り残さない・自分にできる行動の7年」と捉え、南米先住民の物語に出てくるハチドリの一としづくに習って、今できることから行動していきましょう。



## イベントのお知らせ

### 2022年度第3回環境サロン

#### 山口県における再生エネルギーの地産地消!

- ・日 時：2023年2月15日(水) 18:00~20:00
- ・場 所：宇部市新川ふれあいセンター  
(JR宇部新川駅から徒歩5分)

- 講演：倉田勇司さん(長州産業(株))  
「再生可能エネルギーの有効利用について」  
～長州産業におけるエネルギーの地産地消戦略～
- 話題提供：溝田忠人さん(市民共同発電うべ代表)  
「宇部市で17年間太陽光発電を利用して」  
～その利点・問題点・将来像～
- ・申込：氏名、連絡先、対面またはオンラインの別を環境学習館までご連絡ください。(資料代200円)
- ・メ切：2月13日(月)

### 中川河口清掃活動 参加者募集! (ヒヌマイトンボ生息地)

- ・日 時：2023年2月23日(木・祝) 9:00~11:30
- ・場 所：宇部市中川河口ヨシ原
- ・集合場所：中川ポンプ場駐車場

- ・主催：うべ環境コミュニティー
- ・申込：環境学習館 TEL 0836-39-8110  
氏名、住所、電話番号をお知らせください。(保険加入のため)  
mail: [ubekuru@gmail.com](mailto:ubekuru@gmail.com)
- ・メ切：2月16日(木)

昨年の様子/ごみの量にびっくり、どこから流れて?皆で協力、きれいになってうれしい

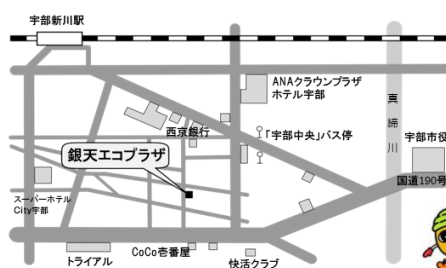


### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分  
宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分  
駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail [ubekuru@gmail.com](mailto:ubekuru@gmail.com)  
開館時間 9時~17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>  
休館日 土・日、年末年始(12月29日~1月3日)



Home Page



facebook



twitter

## ショートムービーコンテストに参加して 長瀬 駿（慶進高等学校2年）

同級生と一緒にショートムービーコンテストに参加しました。審査結果発表会からもう2ヶ月が経ちますが、未だにあの時の喜びは記憶に残っています。

学校に掲示されていたポスターでコンテストの存在を知り、同級生と参加することを決めたのは7月のことでした。放課後に教室で話し合い、どのような動画が人の心に残るのかを考えました。8月には下関市で撮影を行い、提出期限の9月末まで何度も動画を見返し改善を重ねました。

コンテストのキーワードは「地球温暖化」でした。日常生活でもよく聞く言葉ですが、よく聞くからこそ、真剣に深く考えた経験はほとんどありませんでした。地球温暖化がなぜ発生するのか。どのような影響を地球に及ぼすのか。必要な知識を収集するところから始めました。とても高度な最新技術や大規模な対策が生み出されていることを知りました。ですが、私たちにできることを伝えることがまずは大切であると考え、あえて難しい内容を盛り込むことはしませんでした。私たちがショートムービーに込めたメッセージは、たとえ小さなことであっても自分たちにできることを意識して生活することが地球温暖化を止める方法の一つであるということです。ありがちではありますが、1人1人の意識が大切なのだと考えます。

また、今回のコンテストを通じて、映像を作ることの面白さに改めて気づくことができました。コマ何秒のタイミングの違いで映像の感じ方は大きく変化します。その一瞬一瞬を突き詰めていく作業はとても楽しいもの

でした。これからも一瞬にこだわって映像を作っていきたいと感じました。

最後に、今回のコンテストでグランプリという輝かしい賞を受賞させて頂くことができ、大変嬉しく思っています。審査結果発表会は最高の思い出となりました。しかしそれ以上に、仲間たちと真剣に映像を作る過程は私にとって有意義な尊い時間となりました。

# Count

山口県に住む高校生6人はある日

「暑くて不思議な時間」の中にいた。

その時間は、彼らに未来を見せた。

その時間は、彼らを変化させた。

Polaris 慶進高等学校 中高一貫コース 2年

石川夕愛 下村七海 長瀬駿  
松井都慶 松本なる 村上大知

↑ 作品 Count の紹介

↓ 最後のシーン



追記/地球温暖化テーマのコンテスト：宇部市・宇部市地球温暖化対策ネットワーク、宇部ユネスコ協会主催

## うべ環境コミュニティー会員 ほっぴ コラム

### こども家庭庁発足について

2023年4月1日に設置される「こども家庭庁」（内閣府の外局）においては、少子化傾向がますます強まる昨今の家庭において、次の施策を推進しようとしています。

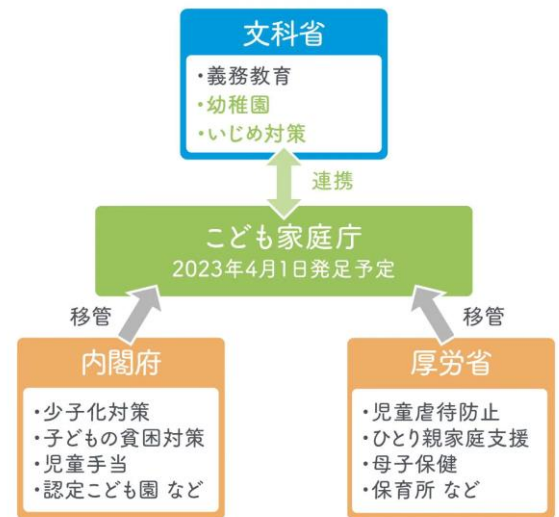
- ① 出産・育児・学校教育における子供への手厚い支援
- ② 親の収入を上昇させる経済施策

確かに、上記の手当てや経済政策は出生率の上昇に効果があると思いますが、長期に渡る少子化対策としては抜本的な解決策となるのかどうか、私は疑問に思います。

「子ども家庭庁」には、省庁の中でも特に文部科学省と厚生労働省が強いかかわっていると思います。省庁横断型の組織がうまく機能することを期待するところですが、本当のところは結婚しない若者の増加を防ぎ、一旦結婚すれば子供を天の贈り物として誕生を祝い、苦勞しながらも子育てをするところに、幸せを見出すことが最も大切なことです。年齢は成人に達していても、「おとなになっていない」、または「なれない」日本人の増加を防ぐには、教育面から抜本的に解決すべきことです。登校拒否から引きこもり、そこまでは行かなくても結婚しない人、そこそこの生活が出来ればそれでよしとする人、パラサイトになって将来どうなるのか親の苦勞の種となっている人等など、「子ども家庭庁」だけに任せるのではなく、私たちがそれぞれの立場で、子ども達、大人になっていない人たちに真摯に直面していくことが大切です。皆さん真剣に考えましょう。そして自分だけで悩まずに、情報交換と対話の場に出て行きましょう。

UKC理事 薄井洋基

### こども家庭庁のイメージ



東洋経済オンライン/articles/-/578332

### 山口大学常盤キャンパスで 新年のカレンダー・手帳のエコ配布！

教職員や事務部から提供されたカレンダー60部・卓上カレンダー35部・手帳15部、希望者に配布されました。スマホ時代ですが、風景、乗り物、動物など、紙のカレンダーにほっとします。ゴミを減らす取り組み、学生サークルのエコファイターズ提案から始まり、10年以上続いています。地域でも広げたいですね。（村上ひとみ）

